

工業用実験室バルク材サンプリングスクープ・シャベル

商品番号: KT-CYA



前書き

鉱業や化学プラントにおける代表的なバルク材の採取用に設計されたこの工業用サンプリングスクープは、最大300mmの開口幅により、最大100mmの最大粒子サイズをシームレスに処理し、正確な実験室の品質保証のための信頼性の高い粒状物回収を実現します。

詳細を学ぶ

用途	説明	主なメリット
鉱業および選鉱	品位管理検査における、切羽、移送シュート、または停止したコンベアベルトからの、未破碎または一次破碎された銅、鉄、金、およびボーキサイト鉱石の手動インクリメント抽出。	詰まることなく最大100 mmの粗い破片のトップサイズに対応し、抽出の偏りを防ぎ、地層全体の代表的な鉱物品位の分散を維持します。
ハイウェイ骨材およびバラストの品質管理	土木建設基準に準拠した、備蓄や配送運搬車からの粗い下地砂利、破碎された鉄道バラスト、およびアスファルト骨材の日常的サンプリング。	深底の平行側壁により、球状砂利の転がりによる損失がなくなり、篩い分け勾配曲線が、微粉の歪みなしに真の採石場出力を正確に反映することが保証されます。
冶金および高炉原料供給	炉の装入前の、貯蔵サイロおよびバッチ計量ホッパーからの石灰石フラックス、コークスブリーズ、およびフェロアロイ添加剤の代表的なアリコートの回収。	構造的弾力性は、鋭く摩耗性の高い冶金材料に耐え、工具の摩耗を防ぎながら、溶融浴供給における正確な元素化学量論を保証します。
サーマルコールおよび固体燃料電力ユーティリティ	定置型ヤードおよび機械的サンプリングバイパスダイバーターからの、微粉化または破碎された歴青炭、無煙炭、および石油コークスの総試料およびサブロット試料の採取。	目詰まりのないオープンスロット設計により、水分を含んだまたは凝集性の燃料微粉の迅速な抽出が可能になり、正確な総発熱量（GCV）および灰分含有量の測定が提供されます。
粒状肥料および農業化学品の製造	乾燥ドラムおよびバルク包装ライン全体での、粒状尿素、リン酸二アンモニウム（DAP）、塩化カリウム、およびブレンドされた土壌栄養素のプロセス内サンプリング。	隙間のない内面により、化学的に異なるバッチ間の粒子の残留がゼロになり、配合の純度が守られ、栄養素のコンタミネーションが回避されます。
セメントキルンクリンカーおよび生原料処理	キルン排出クーラーおよび一次ローラーミル検査ポイントでの、高温クリンカーノジュール試料および破碎石灰石原料の抽出。	高い熱安定性により、ハンドルの弱化や金属酸化なしで最大250°Cの周囲のプロセス熱に耐え、オペレーターの安全性と機械的完全性を維持します。
工業用スラグ回収およびリサイクル骨材処理	二次破碎回路および分級グリッド全体での、破碎された解体コンクリート、製鋼スラグ、およびガラスカレットの品質監視。	ヘビーゲージの摩耗リップは、鋭いカレットや硬化したスラグの破片に対する挟み込みに抵抗し、アグレッシブな機械的摩耗の下で長年の耐用年数を提供します。

モデル / パラメータ	KT-CYA-S (小)	KT-CYA-M (中)	KT-CYA-L (大)
スクープ口幅	100 mm	150 mm	300 mm
最大適用粒子サイズ	25 mm	50 mm	100 mm
推奨開口対粒子比	4.0 : 1	3.0 : 1	3.0 : 1
対象材料粒度	微粉末、砂、結晶性化学品、ペレット	中間破碎鉱物、水洗砂利、クリンカー、石炭	山元鉱石、採石場バラスト、栗石、ヘビースラグ
稼働環境	実験室のベンチトップ、パイロットプラント、微細なシュートポート	バルク材プラント、コンベア排出シュート、鉄道車両	一次破碎機、バルク備蓄、大型輸送ビン
側壁プロファイル	ストレート垂直保持	ストレート垂直保持	深底強化封じ込め

モデル / パラメータ	KT-CYA-S (小)	KT-CYA-M (中)	KT-CYA-L (大)
構造接合	連続サニタリー溶接	連続サニタリー溶接	連続高負荷ガセット溶接

仕様カテゴリ	パラメータ詳細
製品アイテムシリーズ	KT-CYA
利用可能な口幅範囲	100 mm ~ 300 mm
粒子サイズエンベロープ	最大100 mm (KT-CYA-L)、50 mm (KT-CYA-M)、25 mm (KT-CYA-S)
製造構造	垂直保持側壁を備えたU字型フラットボトムトラフ
内部コーナー半径	試料残留ゼロのためのスムーズなフラッシュグラウンド移行
ハンドル構成	デュアルガセットベースアタッチメント付きの強化管状人間工学的グリップ
熱安定性範囲	-20°Cから+250°Cまでの連続運転
表面不動態化	工業用滑らかで非反応性の仕上げ
方法論的標準の適合性	ASTM D2234、ASTM C127、ISO 13909、およびISO 3082の手動インクリメントプロトコルに準拠